

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学校法人二葉学園 ふたばこどもセンター			
○保護者評価実施期間	令和7年4月14日		～	令和7年5月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	令和7年4月14日		～	令和7年5月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達に応じた活動プログラムを工夫していること	年齢や発達ニーズに応じた小集団を設け、自分の気持ちや要求を伝えたり、自分の気持ちに折り合いをつけて友だちと協力をする遊びを通して、集団場面での成功体験を積み重ねていけるよう支援しています。また室内のスペースや園庭を利用し、幼児期の子どもたちが十分に身体を動かしたり、子どもが自然物に触れ、自ら気づいて遊ぶことから学ぶ機会を大切にしています。	さらに充実を図るために、職員一人一人が子ども発達ニーズや行動の意味を理解して支援を行えるよう、ケース会議や研修を実施していきます。
2	・関係機関との情報共有、連携体制があること	同法人である葛飾二葉幼稚園と連携を推進する定期研修を行っています。また利用児一人一人について1回/月の情報共有を行うことにより、集団場面での状況を把握し、より多面的な発達ニーズを捉えることができます。	引き続き連携を勧めながら、個々の発達支援に有用となるよう情報共有を行っていきます。また職員の専門性を高めるために内部・外部での研修の機会を設け、実践力を高めていきます。
3	・1回/月程度の面談を行い、療育活動での姿や発達の様子について保護者と共有を行っていること	療育活動での姿を保護者と共有し、家族の意向やニーズをお聞きしています。面談を通して発達状況や課題について相互理解を深め、必要な支援や相談を行っています。	引き続き定期的な保護者面談を実施することで、よりの確な発達支援、家族支援ができるよう努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・研修会や保護者会等を開催したり、利用者に情報交流の場を提供する機会が少ないこと。	年2～3回の土曜開所日に「父と遊ぶ会」や「就学についての保護者交流会を」行っていますが、対象者以外にはお伝えしていません。また現状で満足という意見もあるため、ニーズに応じた内容を検討する必要があると考えます。	年間予定として全体に周知し、保護者のニーズに応じた開催内容の提供ができるよう検討していきます。
2	・非常時の対応についてのマニュアルや、避難訓練の定期的な実施について周知されていないこと。	緊急時対応のための研修や定期避難訓練を行っており、非常時の対応についてのマニュアルも作成していますが、保護者に説明する機会を設けていませんでした。	非常時対応マニュアルの存在や、それに応じた訓練・研修を行っていることについて、契約時または保護者面談の際に説明する機会を設け、安心して当事業所をご利用いただけるよう努めます。
3			